## 経営戦略の策定にあたって

高槻市の自動車運送事業(市営バス事業)は、昭和 29 (1954) 年 2 月 25 日に営業を開始し、 隣接自治体との合併による市域の拡大や企業誘致に伴う工場立地、高度成長期のベッドタウン化 に伴う人口急増に対応する等、「動く市道」として大きな使命を担ってまいりました。高槻市営バスの前身である日乃出バスは、大正 14 (1925) 年に個人事業として産声を上げており、バス事業 としては創業以来 95 年の長きにわたって、地域に欠くことのできない生活基盤として歴史を重ねてきたことになります。

市営バス事業は、高槻市のまちづくりや行政施策と連携し、公共の福祉の増進に努めてまいりましたが、経営面での道のりは決して平坦なものではありませんでしたが、その都度、英知を結集し、市民のみなさまのご理解とご協力をいただきながら、これまで途切れることなく事業を継続してまいりました。

バス事業創業 100 周年、市営バス開業 70 周年、そして高槻市制施行 80 周年を目前とした今、高槻市営バスは成熟する未来の高槻市の姿を展望し、変貌する市民の新しい生活様式に見合った交通インフラへと飛躍する必要があります。このような中、高槻市を取り巻く様々な課題に的確に対応しつつ、より安全で快適な輸送サービスを追求し、持続・発展させるため、新たな 100 年の歴史への幕開けとなる今後 10 年間の「高槻市営バス経営戦略」を策定し、高槻市の「みらい創生」に取り組むものです。

私たち高槻市交通部職員は、高槻市民をはじめとする「みなさまの公共交通」として、課せられた使命を自覚し、本戦略の目標達成に向けて全力で取組を進めてまいります。